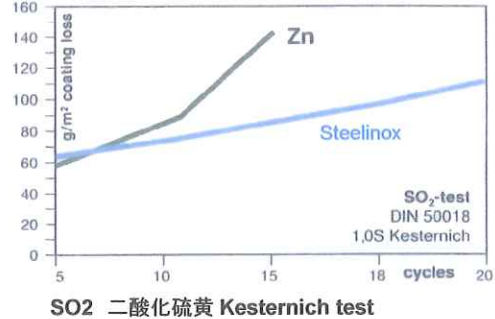
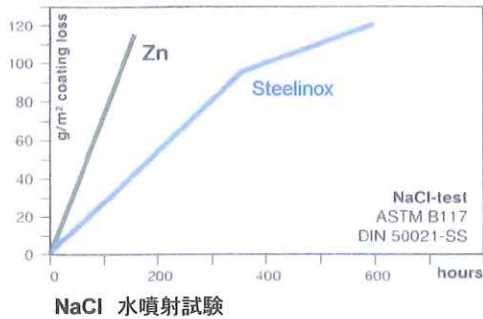
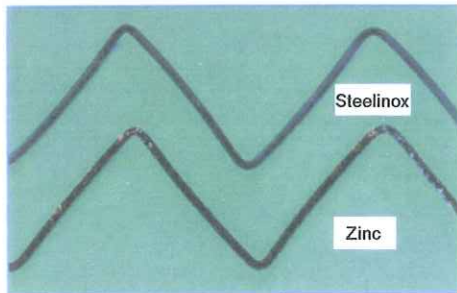


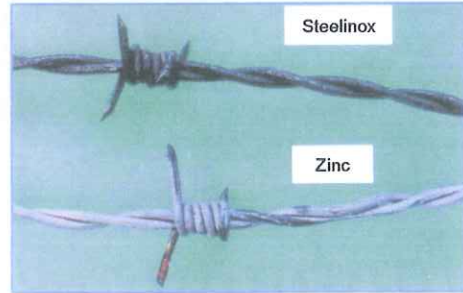
Steelinox®と亜鉛メッキ線のメッキ厚は短時間の腐食促進試験により比較することができます。それらの試験におけるSteelinox®のコーティング重量の減少は、亜鉛メッキ線よりも2倍から3倍少ないことが分かっています。主たる腐食促進試験結果は以下の通りです。



Steelinox®は、塩水噴射試験および二酸化硫黄試験では亜鉛メッキ線と比較して最大3倍の耐食効果を有する



海岸地域で11年間大気暴露試験を行ったもの



田園地域で11年間大気暴露試験を行ったもの

異なるタイプ線材を使用したフェンスを用いて様々な環境で行った野外暴露試験は、対照的な結果を示した

Zinc	Ø 2.50 mm - coating 179 g/m ²	32 h	
Steelinox Extra	Ø 2.40 mm - coating 185 g/m ²	72 h	

湿度100%・40℃の部屋では、Steelinox®より亜鉛コーティングのほうが、より早く白サビで覆われてしまう

亜鉛メッキは、亜鉛の持つ犠牲防食作用(亜鉛が先に酸化することによって鉄の腐食を遅らせる現象)が下地の鉄に対して働くことにより、腐食性の環境下で鉄を保護することが一般的に知られています。たとえ線の表面が傷ついても、あるいは線端部のコーティングされていない部分でも、露出したベースメタルは亜鉛によって保護されます(犠牲防食効果)。Steelinox®は、そのコーティング成分に含まれるアルミニウム(不活性)により、亜鉛メッキのはるかに上を行く保護機能と犠牲防食効果を発揮します。亜鉛メッキの表面とは対照的に、長期間の腐食環境においてもSteelinox®のコーティング層は比較的滑らかな状態を保ちます。Steelinox®の普段見ないほど曇った表面は、保護効果がまさに進んでいる証拠なのです。